

吹田市立博物館

中長期計画一覧表

1. 資料の収集と保管

	現状と課題	中期計画 5年	22	23	24	25	26	点検項目・点検方法	長期計画 10年	点検項目・点検方法	備 考
①資料の収集	現状 ■ 市民からの収集を基本とするという基本方針は、地域文化財の散逸防止と保存という観点からは、一定の成果を収めてきた。 課題 ○ 計画的な収集ができないことにより、コレクションの特性を弱め、収集資料を展示計画に積極的活用しにくい現状がある。 ○ 収蔵庫の狭隘、資料購入予算の少なさ・購入体制の不備。	■ 地域の特性を示す系統的なコレクションを形成するため優先的に収集する収集方針を策定する。（窯業資料 万博・ニュータウン 大坂画壇 S 3 0 年代地域資料など） ■ 古写真、フィルム ■ 旧中西家・西尾家資料の収集 ■ 西村公朝資料の検討を進め、検討委員会の成果を受け、収蔵の具体的な方策を確定する。 ■ 市民へ特別展のテーマに関連した短期的な資料寄贈寄託の呼びかけ。	●	●	●	●	●	■ 収集方針が策定されたか。 ■ 新規収集資料点数 ■ 古写真のデータ収集点数。 ■ 旧中西家・西尾家住宅と連携した資料収集ができたか。 ■ 公朝資料がどう活用されたのか。館に与えた影響は何か。館の活性化にどう寄与したか。 ■ 収集資料件数、点数	■ 収集方針にもとづく資料の収集を実施する。 ■ 市民への長期的な寄贈、寄託の呼びかけ。 ■ 古写真、フィルムの収集 ■ 文化財保護による収集体制と、本来的な博物館資料群の構築に向けた収集体制の分割を構想する。	■ 新規収集資料点数 ■ 新規収集資料点数 ■ 古写真のデータ収集点数 ■ 収蔵体制が構築されたか。	1－③参照 3－②参照 2－②参照 1－②参照 3－②参照
②収蔵庫	現状 ■ 一般収蔵庫・特別収蔵庫ともに、虫菌害防除に関する大気環境は一応良好な状態に保たれている。 ■ 臭化メチル剤の生産停止を受けて、燻蒸装置使用薬剤を変更するとともに、収蔵庫環境の監視による虫菌害防除へと変更した。 課題 ○ 一般収蔵庫・特別収蔵庫（2）は、満杯の状態で、新たな将来地域の文化を理解する上で欠かせない資料を収蔵することができない。 ○ （優先的に）収蔵庫に博物館資料でないものが収蔵されている。 ○ 器具倉庫が決定的に不足しており、資料と機材が一緒に保管されている。	■ 地域の特性を示し、理解するために次世代に伝える地域性を反映した資料を引き続き収集し、新たに西村公朝資料を収集できるように収蔵庫の拡張を計画する。 ■ 器具倉庫の設置を計画する。 ■ 文化財の虫害対策を研究していく。 ■ 薬剤を使わない「環境法」に基づく虫菌害防除法を検討する。 ■ 新規収集資料の燻蒸庫燻蒸を実施する。	●	●	●	●	●	■ 収蔵庫、器具庫が計画されたか。 ■ 他館の動向など最新の情報を収集しているか。 ■ 収蔵庫の環境が良好に保たれているか。 ■ 燻蒸の実施回数	■ 収蔵庫の拡張事業が完了する。 ■ 器具倉庫を確保する。 ■ 臭化メチル製剤の代替剤が、問題なく機能しているか監視する。	■ 収蔵庫の拡張計画が完了したか。 ■ 収蔵庫において保管する必要のないものを、保管していないか。 ■ 器具倉庫を確保できたか。	1－①参照 1－④参照 9－①参照
③登録・整理	現状 ■ 各分野、ペーパーによる登録、そしてデジタル化へと、順次進めている。 ■ 分野によって、登録の進捗に差が生じている。 課題 ○ 記憶容量の限界により、資料の画像登録できる量が限られている。 ○ フィルム画像情報からデジタル画像情報への変換が進んでいない。 ○ 収集資料や2次資料（調査写真記録・実測図面・館の展示記録・事業記録等）の登録・整理のシステムできていない。	■ 引き続き活用のために資料台帳への登録を進める。 ■ 引き続き活用のために未登録資料の整理を進める。 ■ 資料情報を記録する。 ■ 図書資料の書誌データのデジタル化を継続する。 ■ 収集資料のデジタル情報のシステムを検討する。 ■ 2次資料の登録・整理のシステムを研究する。 ■ 古写真のデータをデジタル化する。	●	●	●	●	●	■ 登録点数 登録率 ■ 整理点数 ■ フィルム情報からデジタル情報への変換が進んでいるか。（デジタル・アーカイブの進捗度はどうか） ■ 図書情報の登録率 ■ 収集資料のデジタルシステムが構築できたか。 ■ 2次資料の登録整理システムが構築されているか。 ■ 古写真のデータのデジタル化整理点数	■ 引き続き活用のために資料台帳への登録を進める。 ■ 引き続き活用のために未登録資料の整理を進める。 ■ 資料情報を記録する。 ■ 図書資料の書誌データのデジタル化を継続する。 ■ 収蔵資料・2次資料の完全なデジタル化。 ■ 古写真のデータを引き続きデジタル化する。	■ 登録点数 ■ 整理点数 ■ 記録点数 ■ 図書情報の登録率 ■ デジタル化が完了したか ■ デジタル化件数	6－③参照 6－③参照 1－①参照
④管理・修復	現状 ■ 収集資料のすべてを収蔵庫に収納できず、複数の学校の空教室を借りて資料を保管している。 ■ 経年的に修理・修復を実施し、常設展示に役立ってきた。 課題 ○ 空教室を借りた資料の収蔵は資料の保存に問題があり、複数の学校にまたがることで資料の活用や管理を困難にし、職員の業務を煩雑にしている。 ○ 計画的な修復がなく、修理分野、内容に偏りがある。 ○ 保存処理後の経過観察が限られており、処理後に問題を残している資料がある。	■ 収蔵庫の増設が困難な時は資料の活用や管理のうえから保管場所を一か所に集中できるよう計画する。 ■ すべての分野を見渡した展示計画にそった修理・修復計画の策定。 ■ 処理以後に劣化している資料の修復計画の策定。	●	●	●	●	●	■ 資料の活用管理が容易である収蔵施設の統合計画が立てられたか。 ■ 収集資料の組織管理がなされているか ■ 展示計画にそった修復計画ができているか。 ■ 修復計画にそった資料の修理・修復ができているか。 ■ 経過観察による修復資料の事後チェック。	■ 収蔵庫の増設が困難な時は資料の活用や管理のうえから保管場所を一か所に集中させる。 ■ 大規模展示変更計画とリンクした修復をおこなう。	■ 収蔵施設が一か所に集中できたか。 ■ 資料修復が完了したか。	1－②参照 3－①参照

2. 調査研究

項 目	現状と課題	中期計画	22	23	24	25	26	点検項目・点検方法	長期計画	点検項目・点検方法	備考
①館独自の自主研究事業	現状 ■ 考古学・歴史学・民俗学・美術工芸などの専門分野に立って、地域資料の調査研究を行ってきた。 ■ 特別展の開催を念頭に主な調査研究を進め、さまざまな分野・時代に及ぶ特別展を開催し、一定の成果があった。 課題 ○ 特別旅費など研究活動に使える予算が、目前の展示計画にのみに限定され、将来をみこした自由・自主的な研究に使えない。 ○ 外国館からの貸借や、外国旅費が認められておらず、調査研究活動が国内に限定されている。 ○ 学芸員の専門性をいかして、広い分野の調査研究をすべしとの意見がある。	■ 館の目標に基づく調査研究計画を作成する。（テーマ・地域性・時代性など） ■ 館の目標に基づく、調査研究事業を展開する。 ■ 研究の成果を、論文・レポートなど、記録媒体にのこしていく。 ■ 地域の文化、歴史を研究し、中長期計画を達成するために必要な高度な専門性を持った学芸員を確保していく。	●	●				■ 調査研究計画が作成されたか。 ■ 研究成果が館の活動に反映されたか。（事業の展開・教材や展示手法の開発など） ■ 研究成果が外部に公表されているか。（研究発表・論文・報告書など） ■ 研究成果が市民に公表されているか。（講座・講演・年報・たよりなど） ■ 高度な専門性を持った学芸員が確保できているか。	■ 館の目標に基づく長期の調査研究を計画する。（テーマ・地域性・時代性など） ■ 館の目標に基づく、長期の調査研究事業を実施する。 ■ 学芸員の専門分野を超えた共同総合調査研究を行う。 ■ 地域の文化、歴史を研究し、中長期計画を達成するために必要な高度な専門性を持った学芸員を確保していく。	■ 長期の調査研究計画が作成されたか。 ■ 研究成果が館の活動に反映されたか。（事業の展開・教材や展示手法の開発など） ■ 研究成果が外部に公表されているか。（研究発表・論文・報告書など） ■ 研究成果が市民に公表されているか。（講座・講演・年報・たよりなど） ■ 研究成果が館の活動に反映されたか。（事業の展開・教材や展示手法の開発など） ■ 高度な専門性を持った学芸員が確保できているか。	3－①参照 3－②参照 3－①参照 3－②参照 6－④参照 5－②参照
②共同研究事業	現状 ■ 最近、地域連携の意識改革が進み、やっと他館との共同講座を開催したり、企画展を共同で検討できるようになった。 課題 ○ 登録博物館・登録相当施設・重要資料公開承認施設でないので、文化庁の国費拋出事業の受け皿になれない。	■ 北大阪ミュージアムネットワークによる共同調査を実施する。 ■ 1町5村のアーカイブに関する基礎的調査を市民参画で実施する。 ■ 登録博物館の申請手続きを行う。	●	●	●	●	●	■ 共同研究の成果が公表されているか。 ■ 共同研究が館にもたらした効果は何か。 （事業の展開・学芸員の資質向上・学術的成果・企画の広域性・広報の広域性・観覧者の動向変化など） ■ 21年度登録完了	■ 他館・団体との長期共同研究を行う。 ■ 西村公朝資料の共同研究を行う。	■ 共同研究の成果が公表されているか。 ■ 共同研究が館にもたらした効果は何か。 （事業の展開・学芸員の資質向上・学術的成果・企画の広域性・広報の広域性・観覧者の動向変化など） ■ 共同研究の成果が公表されているか。 ■ 共同研究が館にもたらした効果は何か。	4－②参照 5－②参照 2－①参照 5－②参照 3－②参照 4－②参照 1－①参照 3－②参照

3. 展示

項 目	現状と課題	中期計画	22	23	24	25	26	点検項目・点検方法	長期計画	点検項目・点検方法	備考
①常設展示	現状 ■ 第1展示室（通史展示）と第2展示室（テーマ展示）の2室で構成されている。 ■ 部分的な展示更新は実施している。 ■ 展示パネル・ステージの増加、アイランド形式の展示模型の追加、体験展示を加えるなどの補強が行われた。 課題 ○ 開館以来、リニューアルがなされておらず、これではリピーターが来ないとの指摘がある。 ○ グラフィックの多用、表記のわかりやすさを求める意見が出されている。 ○ 近代・現代の展示を強化すべきとの意見がある。	■ 観覧者のニーズをとらえた常設展のリニューアル計画を市民参画にて策定する ■ 参加型体験展示を構想する。（子ども向けなど） ■ バリアフリー展示を検討していく。 ■ 第2展示室は窯業テーマの特徴が出た計画とする。 ■ 館蔵資料をもっと積極的に活用し、現展示を定期的に更新し、わかりやすい展示を進める。 （新収蔵品の展示・パネル表記の変更・年代表記やグラフィックの付加・パネルをビジュアルなメディア装置に換える・ワークシート・解説シートを作成するなど） ■ 親子で展示見学進める教材や仕掛けを検討する。 ■ 展示解説を定期的あるいは要望に応じて実施する。 ■ 調査結果を展示に反映させていく。	●	●	●	●	●	■ リニューアル計画ができたか。 ■ リニューアルにあたり、答申（2004）や市民提言（2003）の何を取り入れたか。 ■ リニューアル計画の策定に当たっては、市民の意見を聴いたか。 ■ わかりやすい展示改善が行われたか。 ■ 館蔵資料の展示更新がなされたか。 ■ アンケートによる観覧者の展示の満足度をはかったか。 ■ 親子で展示見学進める教材や仕掛けを作成したか。 ■ 展示解説の回数・参加者数 ■ 調査結果が展示に反映されたか。	■ 参加体験型・バリアフリーを導入した常設展示のリニューアルを行う。 ■ 館蔵資料をもっと積極的に活用し、現展示を定期的に更新し、わかりやすい展示を進める。 ■ アンケート結果を反映した展示に変更更新する。 ■ 展示解説を定期的に継続実施する。 ■ 調査結果を展示に反映させていく。	■ 参加体験型・バリアフリーを導入した常設展示のリニューアルが実施できたか。 ■ 館蔵資料を活用した展示の定期的更新を継続実施し、わかりやすい展示につとめているか。 ■ アンケート結果を反映した展示に変更更新ができたか。 ■ 展示解説を定期的に継続実施しているか。 ■ 調査結果を展示に反映させているか。	5－①参照 5－②参照 6－②参照 9－①参照 1－④参照 5－③参照 2－①参照
②企画展示	現状 ■ 春季・秋季の特別展、夏季展示、実験展示、学校教育展その他等、年数回の企画展示を開催し、多彩な企画を実施してきた。 ■ 最近の市民参画による展示が入館者の動向変化に大きく寄与している。 課題 ○ 従来型の企画展について、計画性・テーマ性・企画手法などが問われている。 ○ 特別展示室が狭く、拡幅が求められている。 ○ 企画展の回数・日数が増え、展示準備・撤去等のアキの日程がとりにくくなっている。 ○ 市民企画展を、公募で受け入れできるシステムができていない。	■ 中期計画に基づく企画展を立案し、計画的に開催する。 ■ 22年度（古代摂津国考・吹田市の自然物語2・災害と文化財）23年度（万博と上海万博・バリアフリー・我が家のお宝展） ■ 市民参画の企画展を継続する。 ■ 市民提案の企画展を公募で受け入れるシステムを検討する。 ■ 展示をどのように評価するのかを検討する。 ■ 1町5村のアーカイブ構想に基づく企画展を継続する。 ■ 北大阪ミュージアムネットワークでの連携展示を継続していく。 ■ 他館・企業と連携し、共同企画事業を継続する。 ■ 旧西尾家・旧中西家との連携展示を実施する ■ 西村公朝資料の活用を検討する。 ■ 西村公朝資料の活用の点からも特別展示室の拡幅計画を検討、設計を進める。 ■ 企画展の記録を作成していく。 ■ 展示解説を定期的あるいは要望に応じて実施する。	●	●	●	●	●	■ 中期計画に基づく企画展が立案されているか。 ■ 展示企画にあたり市民参画を行っているか。 ■ 市民提案の企画展示を審議するシステムがあり、十分に機能しているか。 ■ 企画展のテーマ性が市民に受け入れられているか。 ■ アンケートを実施し、企画展利用者の満足度など展示の評価法が検討されたか。 ■ 1町5村のアーカイブ構想が進捗しているか。 ■ 連携展示が実施されたか。 ■ 西村公朝資料の活用を検討できたか。 ■ 展示室の拡幅が検討設計されたか。 ■ 企画展の記録を作成しているか。 ■ 展示解説の回数、参加者数	■ 長期計画に基づく企画展開催。 ■ 市民参画の企画展を継続する。 ■ 市民提案の企画展を公募で受け入れる ■ 1町5村のアーカイブ構想に基づく企画展を継続する。 ■ 北大阪ミュージアムネットワークでの連携展示を継続していく。 ■ 他館・企業と連携し、共同企画事業を継続する。 ■ 西村公朝資料を活用展示する。 ■ 特別展示室を拡幅する。 ■ 企画展の記録を継続作成していく。	■ 長期計画に基づく企画展が立案されているか。 ■ 展示企画にあたり市民参画を行っているか。 ■ 市民提案の企画展を公募で受け入れているか ■ 1町5村のアーカイブ構想が進捗しているか。 ■ 連携展示が実施されたか。 ■ 西村公朝資料を活用展示できているか。 ■ 特別展示室を拡幅できたか。 ■ 企画展の記録を作成しているか。	2－①参照 6－②参照 1－①参照 5－②参照 2－②参照 4－②参照 4－②参照 5－②参照 4－②参照 1－①参照 2－②参照 1－①参照 1－②参照 5－③参照

4. 地域学習の拠点

項 目	現状と課題	中期計画	22	23	24	25	26	点検項目・点検方法	長期計画	点検項目・点検方法	備考
①地域学習の支援	現状 ■ 歴史講座・博物館トーク・親子体験学習などの多数の自主事業を通じて地域学習を支援してきた。 ■ 特別展等の企画展会期中は、展示内容に則した講演会・体験講座・フォーラム・見学会・演奏会等の講座・イベントを実施してきた。 ■ 特別展に関連したイベントの実施数や参加者数は、展示によって多寡がある。 ■ 市内公共施設や団体などの要請を受けて出前講座や依頼講演を行っている。 ■ 特別利用の一般市民からの要請はほとんどない。 課題 ○ 歴史講座・博物館トークなどのテーマは学芸員が設定しており、学芸員の関心のある分野にかたよる傾向がある。 ○ 定例的な歴史講座・博物館トークの参加者は年齢層が高い。また、参加者数は、テーマ性・曜日・天候に左右される。講座の実施計画が早期に広報されていない。 ○ 子どもや学校教育での特別利用が少ない。	■ これまで実施してきた講座・講演会・イベントなどについてアンケートの集計・分析に基づき中期教育普及活動計画をたてる。 ■ 子どもや若年層を対象としたイベントの充実をはかる。 ■ 博物館の利用方法の講座やバックヤードツアーなど利用を支援する活動を実施する。 ■ 出前講座を継続実施する。 ■ 質問・相談などのレファレンスサービスを継続実施していく。 ■ レファレンスサービスを利用者にわかりやすく表示する。 ■ 歴史に関心のある小中高校生の学芸員制度を検討する。 ■ 特別利用（資料の調査、閲覧、貸出）を促進する。	●	●	●	●	●	■ アンケートによるイベント満足度 ■ 市民のニーズに則した講座やイベントを実施したか。また十分な資料を提供できたか。 ■ イベントが充実したか。 ■ イベント参加者数、回数 ■ 博物館の利用方法の講座等を実施できたか。 ■ 出前講座の回数・参加者数 ■ レファレンス回数 ■ 学芸員制度が確立したか。 ■ 特別利用が進んでいるか。 ■ 特別利用数	■ 長期計画に基づく子どもから高齢者まで幅広い世代のニーズに対応した講演会・講座の企画をたて、歴史学習の場として多様なイベントを提供する。 ■ レファレンスサービスの体制を整備強化する。 ■ 特別利用を促進する。	■ アンケートによるイベント満足度 ■ 市民のニーズに則した講座やイベントを実施したか。また十分な資料を提供できたか。 ■ イベントが充実したか。 ■ イベント参加者数、回数 ■ レファレンスサービスの体制が整備できたか。 ■ 特別利用が進んでいるか。	5－①参照 5－②参照 6－②参照 6－④参照 8－②参照 9－①参照 7－①参照
②地域文化の情報拠点	現状 ■ 1町5村のアーカイブ（郷土館）の設置準備を行っている。 ■ 岸部地区ボランティアガイド講座を実施した。 課題 ○ 市内の他の施設との連携がシステム化していない。 ○ 地域文化の情報拠点の機能を進める。	■ 1町5村のアーカイブ構想を地元と進める。 ■ 他の施設・企業と情報を共有連携できる事業やシステムを計画する。 ■ 北大阪ミュージアムネットワークの活動を継続充実させる。	●	●	●	●	●	■ 1町5村アーカイブが着実に進んだか。 ■ 施設・企業との連携事業が進んだか。 ■ 連携先・連携形態・連携内容 ■ 北大阪ミュージアムネットワークの活動が充実したか。	■ 1町5村アーカイブ構想が完結させる。 ■ 他の施設・企業と情報を共有連携できる事業やシステムを展開する。 ■ 図書コーナーを改装し、情報（資料・蔵書・古写真・映像等のデータベース）を閲覧コーナーとして整備する。	■ 1町5村アーカイブ構想が完結したか。 ■ 他の施設・企業と情報を共有連携できる事業やシステムを展開できたか。 ■ 情報閲覧コーナーが整備できたか。	2－②参照 3－②参照 5－②参照 3－②参照 2－②参照 3－②参照

5. 市民参画

項 目	現状と課題	中期計画	22	23	24	25	26	点検項目・点検方法	長期計画	点検項目・点検方法	備考
①市民ニーズの把握	現状 ■ 特別展ごと、または、定例の博物館トークで来館者アンケートとっている。 ■ 中長期計画の策定に当たって、協議会の小委員会にパブリック・コメントできる場を設けている。 課題 ○ 市民が自由に博物館について発言できる、定期定例的な意見交換会の場を広げる。	■ 利用のニーズを把握するアンケートを引き続き実施する。 ■ 市民ニーズを把握するためのアンケートの精度をあげる研究を行う。 ■ 来館者の実態を知る来館者研究を実施する。 ■ 定期定例的な意見交換会を実施する。	●	●	●	●	●	■ アンケートがどのように評価され、館の運営に活用されているか。 ■ アンケート研究が進んだか ■ 来館者の実態を知る来館者研究ができたか。 ■ 意見交換会が定期的開催され、論議がどのように運営に反映されたか。	■ 実態把握のための精度をあげたアンケートを実施する。 ■ 来館者の実態を知る来館者研究を継続実施する。 ■ 定期定例的な意見交換会を継続実施する。	■ 実態把握のための精度をあげたアンケートを実施できたか。 ■ 来館者の実態を知る来館者研究ができたか。 ■ 定期定例的な意見交換会を実施できたか。	3－①参照 4－①参照 6－②参照 6－④参照
②市民との協働・連携事業	現状 ■ 各種文化財調査・史跡ウォークなど、市民歴史研究団体と共同で実施してきた。 ■ 平成18年度から、企画展の企画運営のために公募市民による委員会を立ち上げ、市民参画による、企画展が始まった。 ■ 平成19年度から、市民団体と共同で展示を企画・運営する企画展が始まった。 ■ 博物館を支援する市民グループが、企画展、事業などに参画しつつ、活動している。 ■ 博物館協議会に市民公募として委員が加わっている。 課題 ○ 市民が提案する企画展を公募し、審査して、市民企画展を受け入れるシステムができていない。 ○ 自治会や、施設・団体への働きかけが希薄である。 ○ ミュージアムエデュケーター・市民キュレーターの制度がない。	■ 諸事業について企画段階から市民が参画する市民キュレーター制度を検討する。 ■ 市民に講座、トークなどの講師を担当してもらう。 ■ 公募市民企画展を審査し、開催するシステムを検討する。 ■ 公募市民との共同資料調査を企画し、検討実施する。 ■ 地元団体やサークル、NPO等と連携協力する事業を実施する。 ■ 1町5村のアーカイブ構想を市民とともに検討する。 ■ 市民が協議会委員として館の運営に継続して参画する。	●	●	●	●	●	■ 市民キュレーターの制度が進んだか。 ■ 教育普及の場に市民参画が進んだか。 ■ 市民公募の企画展の審査システムが公正であるか。 ■ 市民企画展は館の活性化に寄与したか。 ■ 公募市民との共同資料調査が進んだか。 ■ 地元団体やサークル、NPO等と連携協力が進んだか。 ■ 市民とともに1町5村のアーカイブ構想が進められたか。 ■ 参画が継続して行われているか。	■ 市民キュレーター制度を確立し、調査研究を実施する。 ■ 博物館事業への市民参画を推進する。 ■ 公募市民企画展を開催する。	■ 市民キュレーター制度を確立できたか。 ■ 博物館事業への市民参画が推進できたか。 ■ 公募市民企画展を開催できたか	2－①参照 3－①参照 3－②参照 5－③参照 4－①参照 3－②参照 2－②参照 3－②参照 3－②参照 4－②参照
③ボランティア	現状 ■ 特別企画の企画・運営などに市民ボランティアが積極的にかかわっている。 ■ 土・日曜などには、ロビーで市民グループによる喫茶サービスがある。 ■ 博物館ボランティアの統一組織がない。 課題 ○ ボランティア登録に際する研修プログラムがない。 ○ 年間を通じた計画的なボランティア研修プログラムがない。	■ ボランティアによる学校教育展（特別企画）の企画運営を継続実施する。 ■ 学校の博物館利用に対するミュージアムエデュケーターの制度を検討する。 ■ （仮称）ビジターセンターの建設にあわせ、ボランティア活動室を配置する。 ■ ボランティアの登録を進める。 ■ 市民キュレーター制度と関連づけながらボランティア養成のための計画的な研修プログラムを作成する。（資料取り扱い実習・先進館の視察、テーマに応じた研修など） ■ 諸研修の予算化を進める。	●	●	●	●	●	■ ボランティア活動が館の活性化に役立っているか。 ■ 市民に親しまれるボランティアとなっているか。 ■ ボランティア人数、ボランティア活動日数。 ■ ミュージアムエデュケーターの制度が進んだか。 ■ ビジターセンターにボランティア活動室が配置されたか。 ■ ボランティア人数、ボランティア活動日数。 ■ ボランティア養成のための研修プログラム、予算化が行われたか。	■ ボランティア制度を確立させる。 ■ 多様なボランティアを育成、組織する。 ■ ミュージアムエデュケーターの制度を確立する。	■ ボランティア制度が確立したか。 ■ ボランティア人数、ボランティア活動日数。 ■ 多様なボランティア集団が育成、組織されたか。 ■ ミュージアムエデュケーターの制度が確立したか。	3－①参照 3－②参照 7－①参照 7－①参照 9－③参照 7－①参照 5－②参照

6. 情報発信

項 目	現状と課題	中期計画	22	23	24	25	26	点検項目・点検方法	長期計画	点検項目・点検方法	備考
①ホームページの充実	現状 ■ 現在のホームページは平成14年（2002）から公開。年間アクセス数は約25, 000件。 ■ 情報の更新は館内で職員が行っているが、年1回、コンテンツの小規模な改訂とメンテナンスを制作会社に委託。 ■ ホームページ上からの問い合わせは少ない 課題 ○ 市民のニーズに対応したコンテンツにするためには、全面的もしくは大幅な改訂が必要。	■ 適時、適切に更新できる体制をとる。 ■ 新たなコンテンツ（蔵書目録・埋文調査・学芸員・ボランティアページ等）の追加や不要と思われるコンテンツの削除 ■ ホームページ上での様式ダウンロード、講座受講申込みなどを可能にする。 ■ バリアフリー、ユニバーサルデザインへの対応。 ■ アーカイブ（事業記録の蓄積）機能を追加する。	●	●	●	●	●	■ 更新体制が確保できたか。 ■ 使いやすく市民のニーズに対応したコンテンツの変更となっているか。 ■ 不要なコンテンツの削除や新たなコンテンツ追加が行われたか。 ■ アクセス数	■ 適時、適切に更新できる体制を継続する。 ■ 市民の知りたい情報を使いやすく、見やすいホームページにする。 ■ アーカイブのコンテンツを追加す ■ 博物館の事業、情報発信の源となっているか絶えずホームページ全体の構成を見直す。 ■ 見られているページ、あまり見られていないページなどの解析を行う。	■ 継続して更新体制が確保できているか。 ■ 使いやすく、見やすいホームページになっているか。 ■ ホームページ全体の構成を解析し、見直しができているか。 ■ アクセス数	6－③参照 9－②参照
②広報活動	現状 ■ 博物館の事業情報は市報、ホームページを主体とし、講座等はダイレクトメールを送付している。特別展等については、ポスターやチラシ等の配布のほか、新聞社、テレビ局、ミニコミ誌へ情報提供を行っている。 ■ ローカルメディアへの情報提供を行っている。（SUTV・FM千里など） ■ 博物館だより（年4回）の発行。 課題 ○ マスメディア（テレビ・新聞）に取りあげられにくい。	■ 広報誌（博物館だより）を継続刊行する。 ■ たよりの執筆も市民参画を取り入れる ■ アンケートを通じて広報の成果を分析する。 ■ 市報やホームページ以外にもマスメディア、ローカルメディアに積極的に情報提供を行う。 ■ 広報内容に応じて子ども、高齢者、事業内容に関連する市民団体など重点対象を臨機応変にしばった効果的な広報を行う。 ■ 早期にイベント行事予定を公開する。 ■ 年度当初に年間（展示）予定を公開する。 ■ e-mailサービスを検討する。	●	●	●	●	●	■ 博物館だよりは広報誌として効果的に発行されているか。配布先、配布数は効果的か。 ■ 広報の成果の分析（ポスター、チラシの配布場所、数、方法は効果的か） ■ 報道機関に十分なかつ正確な情報を提供しているか。 ■ 報道機関によって取材や報道がなされたか。 ■ 効果的な広報が行われた。 ■ 早期にイベント行事予定を公開する。 ■ 年度当初に年間（展示）予定を公開したか。 ■ e-mailサービスを検討できたか。	■ 情報提供戦略の見直し。効果の度合いを分析・検討する。 ■ 広報協力施設、媒体を増加させる。 ■ 広報活動のサポーターを導入する。	■ 情報提供戦略の見直し、効果の度合いを分析・検討できたか。 ■ 広報協力施設、媒体が増加したか。 ■ 広報活動のサポーターが導入できた。	3－①参照 4－①参照 5－①参照 3－②参照 4－①参照
③資料の公開	現状 ■ 資料・蔵書ともホームページ上ではデータベースは未公開。蔵書はリストを受付に常備しているが、あまり利用されていない。 課題 ○ 資料データベースの公開について情報政策課と協議中。 ○ 登録データを外部に公開するシステムができていない。	■ 資料データベース構築のため、他館の運用実態等を調査し、検討する。 ■ 蔵書データベースの公開（平成21年度に公開） ■ 蔵書データベースの閲覧システム（図書の配架、コピーサービス）を整備する。	●	●	●	●	●	■ 他館のデータベース公開システムの状況を把握できているか。 ■ 資料データベースシステム構築されているか ■ 閲覧利用の状況。	■ 資料データベースを公開し、更新する。 ■ 蔵書データベース及び閲覧システムの円滑な運用。	■ 資料データベースを公開、更新できたか。 ■ 蔵書データベース及び閲覧システムが円滑に運用しているか。	1－③参照 1－③参照 6－①参照
④博物館活動の公開	現状 ■ 博物館活動の記録や研究成果は館報に掲載。また、『吹田の社会教育』など市の刊行物でも事業記録を掲載。 課題 ○ ホームページなど他のメディアを使った公開の方法を検討する。	■ 館の事業報告とその運営状況とともに点検、評価結果を公表する。 ■ 研究成果を公表する。 ■ アンケート結果を公開する。 ■ 館の使命をリーフレット、パンフレット、ホームページに公開していく。	●	●	●	●	●	■ 館報は館の活動記録や自己点検・評価の公開として十分に機能しているか。 ■ 研究成果が公表されているか。 ■ アンケート結果を公開しているか。 ■ 館の使命を公開しているか。	■ 継続して館報に館の活動記録や自己点検・評価を公開する。 ■ 研究成果を公表する。 ■ アンケート結果を公開する。 ■ 館の使命を公開する。	■ 館報は館の活動記録や自己点検・評価の公開として十分に機能しているか。 ■ 研究成果・アンケート結果・館の使命が公表されているか。	2－①参照 3－①参照 4－①参照 5－①参照

7. 学校教育との連携

項 目	現状と課題	中期計画	22	23	24	25	26	点検項目・点検方法	長期計画	点検項目・点検方法	備 考
①利用の促進	現状 ■ 特別企画「むかしのくらしと学校」は一定の成果を上げている。また、この展示に伴い、「あかりのうつりかわり」の出前授業を行っている。 ■ 特別企画において、引率教員に対するアンケートを行っている。 ■ 市内文化施設のスタンプラリー「ぐるっとすいた」カードを小・中学生に配布し、利用の促進を行っている。	■ 学校見学にあたっては教員への説明会、利用後の反省会を実施する。 ■ 遠隔地から来館する児童・生徒への補助を検討する。 ■ 6年生の歴史学習にポイントをおいた展示利用プログラムを検討実施する。 ■ 教員と博物館利用に関する研究会を立ち上げ、利用に関するプログラム（教員向けの手引き・子ども向け教材）を開発実施する。	●	●	●	●	●	■ 学校団体による博物館利用が進んでいるか。 ■ 遠隔地から来館する児童・生徒への補助できたか。 ■ 6年生の歴史学習にポイントをおいた展示利用プログラムを検討実施できたか。 ■ 学校教員との協力体制が整えられたか。 ■ 教員への解説書は作成できたか。	■ 小学3年生、6年生以外を対象に幅広い展示を実施していく。 ■ 小・中学生の観覧料を無料にする。 ■ 学校教員との博物館利用に関する研究会を確立する。 ■ 社会科以外の子どもの利用を促進するプログラムを開発する。	■ 小学3年生、6年生以外の展示を実施できたか。 ■ 小・中学生の観覧料を無料にする。 ■ 学校教員との博物館利用に関する研究会を確立できたか。 ■ 社会科以外の子どもの利用を促進するプログラムを開発できたか。	5－③参照
	課題 ○ 中・高校生の団体が博物館見学に来ることは少ない。 ○ 学校団体見学においてアクセスの問題から利用できない学校もある。 ○ 総合学習や6年生の団体見学などの博物館利用は多くない。	■ 教員と博物館利用に関する研究会を立ち上げ、カリキュラム・教科書と展示の関連を点検し、利用を検討する。 ■ 博物館の役割を知り、親しみをもってもらおうようバックヤード見学を実施する。 ■ 小中高校と各段階に応じた学習プログラムを検討する。 ■ 中学校社会科部会と連携について検討する。 ■ 特別展において小中高に応じた展示プラン構成する。	●	●	●	●	●	■ 子ども向け教材の製作活用が行われているか。 ■ バックヤード見学を実施したか。 ■ 学習プログラムを検討したか。 ■ 連携のあり方がまとめられたか ■ 展示プランを構成したか。	■ 社会科クラブなど高校生の博物館利用を促進する。 ■ 高校生の博物館利用を促進できたか。	4－①参照	
②学校教育への支援	現状 ■ 中学校からの要請により職場体験を受け入れている。 ■ 小学校からの要請により民具・考古資料などの資料貸出を行っている。	■ 小学校、中学校への出前授業のメニューを増やす。 ■ 学校授業に活用できる教材の開発。（出前キット、貸出キット）	●	●	●	●	●	■ 出前授業のメニューが増えたか。 ■ 有効な教材が開発できたか。	■ 連携モデル校を検討していく。	■ 連携モデル校制度が検討されたか。	
	課題 ○ 中学校は教科時間が少ないため、博物館利用における連携がとりにくい。 ○ 博物館と教育センターとの協力体制を強化しなければならない。	■ 職場体験のプログラムの精査。	●	●	●	●	●	■ 職場体験のプログラムが精査できたか。	■ 職場体験のプログラムの開発。	■ 職場体験のプログラムが開発できたか。	

8. 社会貢献

項 目	現状と課題	中期計画	22	23	24	25	26	点検項目・点検方法	長期計画	点検項目・点検方法	備 考
①人材育成	現状 ■ 大学の要請により博物館実習を年1回（5日間）受け入れている。 ■ J I C Aの博物館技術研修生を受け入れている。 課題 ○ インターンシップの受け入れができていない。	■ 博物館実習の受け入れを継続して実施する。 ■ J I C A研修を継続して受け入れる。 ■ インターンシップの受け入れを可能となるプログラム（資料整理や展示解説）を検討する。	●	●	●	●	●	■ 実習生、研修生の研修成果は上がったか。 ■ 研修を行った結果、館に何か寄与するものがあったか。 ■ インターンシップの受け入れを可能となるプログラムが作成できたか。	■ 博物館実習のプログラムを検討する。 ■ J I C A研修のプログラムを検討する。 ■ インターンシップを受け入れる。	■ 博物館実習の効果的プログラムが作成できたか。 ■ J I C A研修の効果的プログラムが作成できたか。 ■ インターンシップの受け入れが館にどのような効果をもたらしたか。	
②講師派遣	現状 ■ 大学など他機関へ講師を派遣している。 課題	■ 大学への非常勤講師の派遣を継続して行う。 ■ 各機関からの依頼講演を継続して受け入れる。	●	●	●	●	●	■ 講師派遣が幅広く行われているか。 ■ 講師派遣の結果、何が館にもたらされたか。 ■ 必要な資料が用意されているか。	■ 大学への非常勤講師の派遣を継続して行う。 ■ 各機関からの依頼講演を継続して受け入れる。	■ 講師派遣が幅広く行われているか。 ■ 講師派遣の結果、何が館にもたらされたか。 ■ 必要な資料が用意されているか。	4－①参照
③学会、研究会等への支援	現状 ■ 学会、研究会等の運営のため会場提供などの支援を行っている。	■ 学会、研究会等の開催に会場提供などの支援を行う。	●	●	●	●	●	■ 学会、研究会等の運営へ支援を行ったか。	■ 学会、研究会等の開催に会場提供などの支援を行う。	■ 学会、研究会等の運営へ支援を行ったか。	

9. 施設の整備・維持管理

項 目	現状と課題	中期計画	22	23	24	25	26	点検項目・点検方法	長期計画	点検項目・点検方法	備考
①施設の維持・管理	現状 ■ 展示機器の定期点検を行っている。 ■ 防災訓練を年1度実施している。 課題 ○ 設備の老朽化に伴う設備更新が進んでいない面がある。	■ 展示機器の定期点検を継続して実施する。 ■ 外国語の案内表示を作成する。 ■ 収蔵庫の空調機器を改修する。 ■ 機械室の設備を順次更新していく。	●	●	●	●	●	■ 展示機器の定期点検を実施しているか。 ■ 万人に対応した受入態勢となっているか。 ■ 空調機器が改修されたか。 ■ 更新がなされたか。	■ 展示機器の定期点検を継続して実施する。 ■ 機械室の設備を順次更新していく。	■ 展示機器の定期点検を実施しているか。 ■ 更新がなされたか。	3－①参照 3－①参照 4－①参照 1－②参照
②アクセス	現状 ■ 主要道路からのアクセス表示は設置されてはいる。 課題 ○ 館へのアクセスがわかりづらいといわれている。 ○ 名神高速道路吹田サービスエリアから博物館利用ができるアクセスロードの設置を求められている。	■ 駅前、公園内のアクセス表示を設置する。 ■ ホームページに詳細な案内を掲載する。 ■ 吹田サービスエリアからのアクセスロードを協議検討する。				●	●	■ アクセスが容易にできるようになったか。 ■ 詳細な案内を掲載できたか。 ■ 協議が進んだか。		■ 吹田サービスエリアからのアクセスロードを協議検討する。	6－①参照
③ビジターセンター	現状 ■ 紫金山公園の整備計画の一環として紫金山ビジターセンターの構想を進めている。 課題	■ ビジターセンターの建設を検討する。 ■ ビジターセンターに人員を配置して円滑に運営する。	●	●	●	●		■ ビジターセンターの建設を検討し、建設したか。 ■ ビジターセンターとの連携がとれているか。		■ ビジターセンターを円滑に運営し、連携をとる。	5－③参照